

# いつか 必ず きっと



## 冒険活動の日程が確定しました。

6月16日(火)から2泊3日の日程で予定されていた冒険活動ですが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は、宇都宮市の全小中学校日帰りで実施することになりました。宇都宮市教育委員会による日程調整によって、国本中学校の冒険活動実施日は、10月1日(木)に決まりました。「3密」になる可能性の高い野外炊飯などいくつかのプログラムは実施できなかったり、レストランでの食事も国本中の人数では2回に分けなければいけないなど多くの制約が設けられています。しかし、日帰りで実施していただけることに感謝したいです。そして、思いどおりにならないことがたくさんあると思いますが、新たなものを生み出すチャンスととらえて、みんなが前向きに取り組むことができ、学級・学年の絆を深め、少し成長して帰ってくるような計画を考えていきたいと思っています。

## アンビグラムを作ってみました。

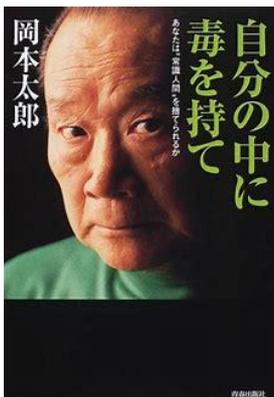
外出自粛で我慢のゴールデンウィーク。何をやっても、何となくもやもやしてしまう。先生にとっての一番のストレスは、ぐっすり眠ることができないことです。このところ、歯が抜ける夢を毎日のように見るので、インターネットで調べました。不安や憂うつな気持ちを吹き飛ばしたいという潜在意識からのメッセージで、大きなストレスが溜まり心が疲れている場合にこの夢を見ることがあると書いてありました。現状にストレスを感じるのしょうがないと受け入れながら、何かやったことのないことをやりたいなと思いテレビを見ているときに、アンビグラムアート作家の野村一晟さんの特集を見ました。アンビグラムとは、上下さかさまにしても読み取れる文字のことです。その番組の中で、野村さんが、「ただ、角度を変えて違う文字が読み取れるだけではなくて、そこにストーリーがあることにこだわっている。」とおっしゃられていました。ちょっとでも興味を持ったものはやってみる。それが先生のスタイルです。

よし、作ってみよう！  
題材は、先生が大切にしている言葉「基本は本気の源」です。良い集団になるための基本は、みんなが平等であることです。基本のない集団は、一つにまとまることもできないし一人ひとりの個性を発揮することもできません。基本は本気の源だと先生は考えています。



初めてのアンビグラムは、いびつだけど、それが自分らしくて気に入るものことができました。

## 先生方による本紹介企画 『自分の中に毒をもて』 著者：岡本太郎



増え続ける新型コロナウイルス感染者、命のリスクにさらされて治療行為に従事している医療関係者の厳しい状況、悲鳴を上げる観光・飲食業界。命にかかわる情報が、毎日否応なく耳に入ってきます。「命を大切にするとはいどういうことなのか」ということを含め、自分自身と向き合う時間が増えています。そんな中、読み返したのがこの本です。

先生は本州の最西端である山口県下関市の彦島という島で生まれ育ちました。プロ野球選手になることを夢見る野球が大好きで負けず嫌いな少年でしたが、その夢を叶えることはできず、教員をやっています。この本と出会い、自分自身の人生には、情熱が足りず言い訳をして生きてきたことを気づかされ、変わるきっかけとなりました。みんなには、どんな小さなことでもいいので、自分が情熱を感じるものに対して前を向いて一歩踏み出してもらいたい。自分自身もまだまだ夢をもって生きていきたい。

「己が最大の味方であり、また敵なのである。」

読み返すたびに、心に力をくれる一冊です。

(紹介者/加藤 直幸)